



## 「こんにちは 市長です」

7月15日号

熊本と鹿児島で豪雨、大勢の犠牲者がでた。人吉市の市街地にまっ茶色の泥水がたまっている光景。車は横転し長靴で歩くことさえできない。まちは泥水で埋まった。もう一度防災マップを確認してくれませんか。「命を守る行動」を取るための基本になるものです。危険なエリアに住んでいるのかどうか再確認してください。水害時に開設する避難所の見直しを予定しています。本年度末までには装備を含めて、避難所機能の充実を図ります。

その日は熊本の豪雨の前日だった。「富士山の頭だけが見えます。ここからは絶景なんですがあいにくと」蕪崎市（山梨県）の内藤市長はガラス戸越しに富士山を指さした。♪あたまを雲の上に出し、四方のや～まを見下ろして…♪あの古き日に口ずさんだ童謡の景色である。おおた芸術学校と蕪崎の子どもたちと一緒に演奏会をしよう、特産の桃を持ってきてもらう（8月4日（火）、市役所で販売予定）など交流している、そのお礼で出掛けたのだ。さくらんぼ、桃、ぶどうなど農家が高齢化しているようだ。「じゃあ、太田の若き高齢者が畑丸ごと借りて、春から夏にかけて蕪崎に出張、農業をする。収穫物は太田に持ち帰って売ってもうける？こんな交流はどうですかね」「体験農業からでも…」内藤市長は大学の後輩だからか、話は弾んだ。蕪崎までは行きも帰りも2時間半、近かった。

時間を戻して朝8時、知事との朝食会があった。みんなが昼間集まるのはなかなか難しい。解散風が吹き始めると高級料亭で会食するのは国会議員のお偉いさんだけど、市長会の面々は基本的にケチだ。そういう会合はしない。サンドイッチとコーヒーで1時間、ざっくばらんな話し合いをした。話題は「小・中・高の児童生徒、一人に一台タブレット配布」「コロナで苦戦の医療機関への支援」「国保税を県で統一」などが前向きな議論で終わった。県市長会は『いい感じ』で進められている。（7/6記）